



『笑いと感動で  
心が元気になる！』  
たけとら KAGUYA

Cover Artist Interview

野添義弘

Yoshihiro NOZOE

俳優

劇団スーパー・エキセントリック・シアター所属。アクションを得意とし、劇団公演では殺陣の振付もしている。最近の主な出演作に、NHK夜ドラ「替え玉ブラヴォー」マチルダ役、フジテレビ「もしもこの世が舞台なら、楽屋はどこにあるのだろう」浅野大門役、NHK朝ドラ「虎に翼」浦野役、NHK土曜ドラマ「3000万」奥島誠吾役、カンテレ「パラレル夫婦」平田実役、BSテレ東「ワカコ酒」逢楽大将・石田役、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」安達盛長役、舞台「他者の国」橋典裕役、舞台「西遊記」太白金星/中臣鎌足役など。NHK朝ドラ「風、薫る。」にも出演予定。



# アラ ウェルカム シアター ala welcome theatre シリーズ始動!

大人から子どもまで広く楽しめる作品をキャストとスタッフが可見市に滞在しながら創作し、各地に向けて発信する新企画「ala welcome theatre シリーズ」。その記念すべき第1弾は、誰もが知っている日本の古典『竹取物語』を現代風に大胆アレンジして贈る『たけとりKAGUYA』(脚本・演出: 佃典彦)。翁(おきな)役に、劇団スーパードライヴの俳優・シスター(SET)に所属し、テレビや映画の世界でも名バイプレイヤーとして活躍する野添義弘を迎え、コメディ要素も満載でお届けする。

## アラによろこんで!

うちの劇団の小倉久寛さんも(2024年の「シリーズ恋文の二丁」で)呼んでいただいたそうですね。考えてみたらこのようなファミリー向けの作品はあまり経験がないかもしれません。でも役者をやる前にウルトラマンや仮面ライダーなどのヒーローショーにスーツアクターとして出演していたこともあって、お子さんの相手は得意だったんですよ。

『たけとりKAGUYA』は古典をベースにミュージカル色も強く、楽器の生演奏もあり、チャンバラなどのアクション・シーンもたっぷりなかなか盛り沢山の作品です。

SETは「ミュージカル・アクション・コメディ」を旗印にした劇団で、これまで幅広いジャンルの舞台を上演してきたので、その辺りはバッチリです! 乃木坂46の桜井玲香さんと衛藤美彩さんを交互にゲストとして迎えた劇団の創立35周年記念公演『M・カミナリ』では、リストをそのお二人と僕のデュエットで締めました。ソロも大丈夫です!

今回は残念ながらソロはなくみんなが歌うシーンが殆どです。

残念。カラオケも大好きなので、じゃあ打ち上げの時にも(笑)。森昌子さんや岩崎宏美さんとかと同じ1958(昭和33)年生まれ世代ですから、今の曲はあまり知らないけれど昭和歌謡ならお任せください。

現時点ではまだ台本のみですが、読んでみて『たけとりKAGUYA』はうかがえていたか?

自分は「竹取の翁」役のはずなのに、最初に意外な姿で登場するので非常に驚きました(笑)。しかも「エイリアン」あり…の展開でびっくり! まさかあの『竹取物語』がこんな風になるなんて。でも貴族たちに求婚された月からお迎えが来たりするプロットは大き



ただ、思った以上に出すつぱり台詞の量もハンパなく多いので、憶えられるかな…? という心配もあります。でも台詞がちゃんと頭に入ればアドリブもできそう。とにかく楽しみですね。脚本・演出担当の佃典彦さんに声をかけていただいたことに感謝です。

遊び心というか、随所にギャグが散りばめられていて愉快なお芝居になりそうです。

く違わないので、奇想天外でSF的ではあるけれど筋はわかりやすいと思います。

## ala welcome theatre『たけとりKAGUYA』 市民サポーター募集

『たけとりKAGUYA』制作にあたり、稽古・公演・広報等をお手伝いいただけるサポーターを募集します。皆さまのアイデアや得意なことを活かして、一緒に公演を作り上げませんか?

- 対象** 18歳以上でala welcome theatreと一緒に支えていただける方
- 活動内容** 公演制作期間中のスタッフ補助、広報宣伝協力、関連企画の運営など
- 活動期間** 2026年5~7月のうち活動可能な日
- 定員** 20名程度

参加費 無料 募集締切 5月11日(月)

申込方法 右のフォームからお申し込みいただくか、アラ館内に設置された申込用紙にご記入の上、窓口または郵便、FAXにてお申し込みください。



応募フォーム

**★初回説明会★**  
応募いただいたサポーターの皆様へ、今後の活動について説明させていただきます。  
【日時】5月23日(土)10:30~ 1時間程度  
【会場】可見市文化創造センターala ワークショップルーム洋室(2F)

佃さんとのお縁は? 僕と半海一晃くん、多田木亮佑くんという同じ年3人の役者に堤幸彦監督を加えた演劇ユニット「キバコの会」の旗揚げ公演『素』(2009年)の脚本を書いてくれたのが佃さんでした。佃さんと堤監督、そして多田木くんの3人が名古屋出身で昔から仲が良かったみたいです。

## 『素』はどんな話ですか?

とある劇団の公演が千種楽を迎えて、中年役者の3人がなぜか「なぐり」(※ハンマーなどの道具のこと)を手に舞台セットをバラしていくのだけど、そこに大女優や演劇オタクの少女が現れたりして邪魔が入る。でも最後には舞台がすっかり片付いて劇場が「素」の状態に戻るというユニークな作品で、凄く面白かった。「田恵子さんがゲストで、下北沢ザ・スズナリと愛知県芸術劇場小ホールで大成功を収めました。

極めて突飛なシチュエーションを笑いのセンスで彩りながら展開させる。佃さんらしい作品ですね。

今回の『たけとりKAGUYA』もこんな舞台になるのかまだわからないので「さっし」として興味津々です。幕開けは富士の樹海だしエイリアンも登場するし、「かぐや姫」の誕生シーンとかどうやるんだろう…? 乞うご期待ですね(笑)。

共演者の方とは野添さんは皆さん初顔合わせなんですね。「かぐや姫」役の光月るうさんは2023年4月に退団されるまで宝塚歌劇団で男役として活躍されていた方で、昨年は劇団そばごまの『幕末』公演で主演の坂本龍馬役を好演されていました。 これまでにも宝塚出身の女優さんと何度も一緒にしましたが、皆さん最高でした。大地真央さんは稽古中にどんだんアドリブをかましてくるし、真矢ミキさんは天然キャラ、黒木瞳さんとはテレビでしたがかにかく才能豊か。なので光月るうさんとの共演に今からワクワクしています。今回は可見市に長く滞在するのでみんなとの絆も深まりそうです。

6~7月の可見はとも暑そうですが、何しろ「翁」は不老不死の人ですので、元気でピンピンしてないといけませんね。本番が楽しみです!

5月までは映像の仕事もいっぱいありますが、6月からはアラに専念します。大阪から上京して50の芝居に魅せられてこの世界に飛び込んで40年あまり。テレビや映画の仕事も楽しいのですが、やはりお客さんの反応がダイレクトにわかる生の舞台を愛しています。途中で何が起きるかかわからないけれど、とにかく始まったら最後までやりきる「ショー・マスト・ゴー・オン(The show must go on)」の緊張感も大好き。今回のような長期滞在は初めてですが、皆さん楽しんでいただけるように頑張ります! 沢山の方に足を運んでいただけると嬉しいです。

取材/東端哲也 取材/中野建太 協力/フリーペーパーMEMO

ala welcome theatre

# たけとり KAGUYA

日本最古の物語『竹取物語』が、まさかのSFコメディに大変身! かぐや姫は、なんと地球侵略を目指すエイリアン!? 歌、チャンバラ、生演奏、観客参加とライブ感満載。大人から子どもまで、理屈抜きで笑って楽しめる“みんなの劇場の入口”となる一本です。

【脚本・演出】佃典彦  
【出演】光月るう、野添義弘、松井真人、小玉雄大、川合耀祐、栗木健(打楽器奏者)

日時	7月	18 Sat	19 Sun	20 Mon	21 Tue	22 Wed	23 Thu	24 Fri
14:00	●★	●	●	●	休館日	—	●	●
18:30	—	—	—	—	—	●	—	—

★舞台手話通訳付き

会場 小劇場 発売日 5/16(土)

料金 全席指定 4,000円  
25才以下 2,000円  
小学生以下 1,000円  
※4才から入場可

当日入場券 500円  
託児申し込み 7/5(日)まで ※7/22(水)公演のみ対象外

障がいのある人の作品「可能性(able=エイブル)の芸術」展覧会

- ◇見本市内支援学級児童・生徒による作品も展示◇
- ◇作家関連のグッズや書籍を販売するプチミュージアムショップ◇

### エイブル・アート展～拡張する世界～

日時 7/11(土)-7/19(日) ※14日(火)は休館 平日10:00-17:00/土日10:00-19:00

会場 美術ロフト

料金 入場無料

作家の想いや考えだけでなく、その人となりまでも垣間見えるような、ある種の生々しさをもった作品、突き詰められた豊かな表現には、みる人の世界を拡張する力があります。今回のエイブル・アート展では、そんな作者の世界観が色濃く刻まれた作品たちを紹介します。

関連企画

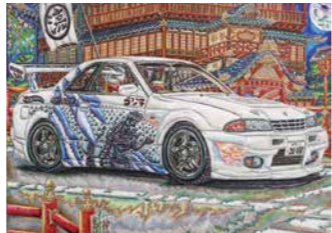
おさだめぐみ  
長田恵さんによる  
公開制作



日時  
7/11(土) 13:00~15:00頃  
※休憩時間含む。制作の状況によっては予定より早く終了することがあります。



「モクレン」アクリル、キャンバス  
長田 恵(おさだめぐみ)



「ホットワイルNISSAN SKYLINE GT-R[R32]GODZILLA  
千と千尋の神隠し歴史の宿金具展」  
アルコールマーカー / 湯井 亮(ぬくいりょう) (片山工房 / 兵庫)

公演鑑賞を希望する中学生、高校生を募集!

### 私のあしながおじさんプロジェクト

地元企業・団体・個人の皆さんの寄付金で、アキラが主催・共催する音楽や演劇などの公演チケットを未来を担う子ども達にお届けする「私のあしながおじさんプロジェクト」。今年度も公演鑑賞を希望する中学生、高校生を募集します。

対象 中学生、高校生

応募方法 アキラ館内およびwebサイトにある鑑賞者募集チラシで詳細を確認の上、「申込用紙」を締切日【必着】までに窓口にて提出ください。



- ※鑑賞希望申込みは、お一人年間3公演まで。
- ※応募者多数の場合あるいは申込み時にチケットがすでに完売となっている場合はご希望に添えない可能性があります。
- ※申込結果は、公演2週間前までに郵送にてお知らせします。
- ※座席は選べません。アキラが指定する座席で鑑賞いただけます。

対象公演	締切
① 7/11(土) 14:00 ウィーンV.ルジェリウス ピアノ三重奏団	6/13(土)
② 7/18(土)・19(日) 20(月・祝) 各日14:00 ala welcome theatre 「たけとりKAGUYA」	6/13(土)
③ 8/2(日) 16:00 佐渡裕×新日本フィルハーモニー交響楽団2026	7/11(土)
④ 8/9(日) 14:00 かに寄席 納涼	7/11(土)
⑤ 9/12(土) 15:00 反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ夏ツアー2026	8/22(土)
⑥ 9/14(月) 14:00 こまつ座「頭痛肩こり樋口一葉」	8/22(土)
⑦ 9/19(土) 18:30 森山威男ジャズナイト2026	8/22(土)
⑧ 10/10(土) 14:00 新日本フィルの名手たち	9/17(木)
⑨ 11/14(土) 15(日) 各日14:00 シリーズ恋文 vol.16	10/24(土)
⑩ 12/12(土) 15:00 13(日) 14:00 文学座公演「みつ豆」	11/19(木)
⑪ 2027年 1/11(月・祝) 14:00 ウィーン・フォルクスオーバー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2027	12/13(日)
⑫ 2027年 1/17(日) 14:00 かに寄席 初席	12/13(日)

その他催し物のスケジュールはこちら▶▶▶

「イベント・スケジュール」はアキラwebサイトに集約されました。

チケット取扱 / 見本市文化創造センター・インフォメーション

ネットで予約する <https://www.kpac.or.jp> 24時間いつでも予約可能! ネットでのカード決済も可能。お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアキラ窓口で!

電話で予約する TEL.0574・60・3050 お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアキラ窓口で! 9:00~19:00 (火曜休館/祝日の場合は開館 翌平日休み)

窓口で購入する

窓口でご利用可能なカード

- 発売日は窓口・ネットにて販売。電話予約は翌日からとなります。
- 表記のない公演の開場は開演30分前です。
- 振込による代金支払いもごさいます。
- 表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。
- 25才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
- 公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

残席が当日安くなる! 害50%

【当日ハーフプライス】残席がある場合に限り公演日当日、チケット料金が半額になります。※インターネットは0時から。窓口・電話は9時から。

スマホで完結! チケットレスサービス

【チケットレスQ】インターネットでチケットを予約購入、お手持ちのスマートフォン等によってQRコードを表示してご入場いただけます。※アキラ主催・共催公演対象

公演をセットにして20%割引 一般発売よりも早く良い席を!

【販売期間】6月29日(月)まで

パッケージチケット

アキラ・キネマ倶楽部 6月

Title 『九十歳。何がめでたい』

上映時間99分  
2024年/G/日本

世の中のモヤモヤを一刀両断!  
最高にスカッとする人生喜劇

日時 6/21(日) 10:00 / 14:00

断筆し無気力な日々を送っていた作家のもとに、空気が読めない編集者が連載依頼を持ち込む。やけくそで書き始めたエッセイは、付度なしの「本音」が炸裂!  
世の中の閉塞感を笑い飛ばすエネルギーと、人生100年時代を生きるヒントが詰まった感動の人間喜劇。観れば必ず「スカッ」として、明日への活力が湧いてくる一作です。



©2024映画「九十歳。何がめでたい」製作委員会  
©佐藤愛子/小学館

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円 25才以下 500円

発売中

本格的な演奏と楽しいトークでウィーンへ誘う

### ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団

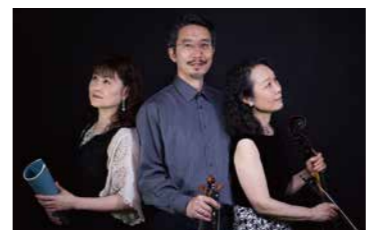
日時 7/11(土) 14:00

ウィーンで出会った3人が本場ウィーン仕込みの息の合った演奏と楽しいトークで素敵なひとときをお届けします。

【プログラム】  
R. ジーチンスキー：ウィーン我が夢の街  
J. ブラームス：ハンガリー舞曲 第1番  
ヨハン・シュトラウス2世：ワルツ「美しく青きドナウ」ほか

会場 小劇場

料金 全席指定 3,000円  
25才以下 1,500円  
※4才から入場可



発売日 5/16(土)

※パッケージチケット購入者限定 「ホームタウンツッピング」対象

主催：ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団

アキラ・キネマ倶楽部 8月

Title 『ニュー・シネマ・パラダイス』

上映時間124分  
1989年/PG12  
イタリア・フランス合作

何度観ても涙があふれる  
少年と映写技師の心温まる絆の物語

日時 8/23(日) 10:00 / 14:00

イタリア・シチリア島の小さな村。映画に魅せられた少年トトは、村の映画館「パラダイス座」に通い詰め、映写技師のアルフレードと親子の様な深い絆を育んでいく。やがて青年となったトトは、初恋の喜びと痛みを経て故郷を離れ、ローマへ旅立つことに…。映画への愛と人生の哀歌を美しい旋律に乗せて描く、永遠の感動作。



会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円 25才以下 500円

発売日 6/20(土)

人のつながりから生まれる音楽を

### アキラ未来の演奏家コンサート

日時 7/5(日) 14:00

演奏家が7/1から5日間、可見に滞在して、市民の皆さんと交流を重ねながら音楽を作り上げていく「アキラ未来の演奏家プロジェクト」。今年も2人の演奏家を迎えて、公開リハーサルやロビーでの演奏、小学校へのおでかけ授業を行います。最終日にはフィナーレとなるコンサートも開催いたします。



沼池 武文(ヴァイオリン)

会場 美術ロフト

料金 全席自由 1,000円  
25才以下無料 (要整理券 / 窓口にて配布)

発売日 5/16(土)



岩崎 洵奈(ピアノ)

落語と講談で楽しむ、夏の寄席

### かに寄席 納涼

日時 8/9(日) 14:00

古典落語の奥深い魅力と、現代の感性が出会うひととき。味わい豊かな落語と講談で楽しむ夏の「かに寄席」は、世代を超えてお楽しみいただける公演です。

会場 主劇場

料金 全席指定 4,000円  
25才以下 2,000円

発売日 6/20(土)

※託児申し込み 7/26(日)まで



柳家花緑 月亭方正 春風亭昇也 田辺凌天(講談)

反田 & JNOがフルオーケストラで3年ぶりにアキラに再登場!

### 反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ夏ツアー2026

日時 9/12(土) 15:00

【プログラム】  
ブラームス：ピアノ協奏曲 第1番 二短調 Op.15 (ピアノ：反田恭平)  
ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op.77 (ヴァイオリン：岡本誠司)

【指揮】反田恭平

会場 主劇場

料金 全席指定 7,000円 25才以下 3,500円

発売日 7/4(土)

※託児申し込み 8/29(土)まで



従来の紙芝居のイメージを大きく覆す内容でした。6〜7人で一つの物語を演じ、場面によっては役者が紙芝居の枠を超えて観客の前で演じるなど、演劇的要素がふんだんに盛り込まれていました。小道具や身体表現も積極的に取り入れられ、「観る」だけでなく「体験する」要素が満載です。

2015年、アラが企画した紙芝居ワークショップに参加したことが始まりです。講師を務めていた文学座の演出家・森さゆりさんから「この活動を死ぬまで続けてください」と強く背中を押されたことが大きな転機となりました。その言葉に心を動かされた参加者約10名が中心となり、自然な流れで一座を立ち上げました。現在も当時のメンバーが数名残り、活動の核となっています。

参加したきっかけは何ですか？



今回の「えがお」人  
やすき 鈴木 康之さん  
(アラ紙芝居一座)

2015年の立ち上げ当初から活動を続けるアラ紙芝居一座。その中心メンバーの一人であり、現在まで継続して活動を支えてきた鈴木康之さんに、本活動の魅力やこれまでの歩みについてお話を伺いました。

## 第14回 劇場から地域を元気に「えがお」人

アラは、市民が自己実現を叶える場・輝ける場づくりを担い、地域を元気にする「えがおの劇場」を目指しています。そんなアラを素敵な「えがお」で一緒に盛り上げてくださっている人々をご紹介します。

長く続いている理由は何でしょうか？

何よりも子どもたちの笑顔に尽きます。上演中に見せる真剣な表情や笑い声、終演後に交わすグータッチなど、観客との距離の近さがやがていなくなっています。また、この一座は家庭や職場とは異なる「第三の居場所」としての側面も持っています。上下関係や利害関係にとらわれないフラットな関係の中、安心して集い、表現を楽しめることが理由だと感じています。

稽古はどのくらい行っているのでしょうか？

本番に向けては4〜5回程度の稽古を行うことが多く、新作を制作する際には10回ほどかけてじっくりと作り上げていきます。特に大切にしているのは、子どもたちが単に鑑賞するだけでなく、物語の一部として参加できる工夫です。メンバー同士でアイデアを出し合い、試行錯誤しながら形にしていく過程そのものが、大きな楽しみとなっています。

今後の取り組みについて教えてください。

これまでは既存の作品をもとにアレンジを加えてきましたが、今後は物語そのものも含め、完全オリジナル作品に挑戦したいと考えています。座ならではの発想やチームワークを活かし、子どもたちの心に残る新しい紙芝居の形を生み出していきたいです。



## 東日本大震災復興支援 能登半島被災者支援「祈りのコンサート2026」

東日本大震災から15年、能登半島地震から3年目を迎える節目に、「祈りのコンサート2026～被災地へ届け、私たちは忘れない～」を開催しました。本公演は、被災地へ「心のケア」の支援を届けるため、当館が継続している取り組みです。アラ WEB ページにて本公演のレポートを公開しております。ぜひご覧ください！



本公演の寄附金額ご報告	
募金箱へ寄附いただいた金額	208,506円
事業収益の募金額	96,020円
合計	304,526円



【寄託先】  
気仙地域傾聴ボランティア「こもれびの会」、傾聴ボランティア「こころのもり」  
公益財団法人ほくりくみらい基金「能登とともに基金」、劇・あそび・表現活動 Ten seeds

## 市民ミュージカル『君といた夏』 Kiminatsu

ala大型市民参加公演・第15弾・市民ミュージカル『君といた夏』が、2026年2月28日(土)、3月1日(日)、上演されました。公募により集まった101人の市民キャストがそれぞれの役を演じきり、2日間で1,350人のお客様に2025年度版“わたし達の”『君といた夏』をお届けしました。  
文学座の俳優であり作家の瀬戸口郁さんによる本作は、映画『スタンド・バイ・ミー』をモチーフに、昭和49年の可児を舞台背景としています。2012年3月の初演の2年前から実際に可児のまちを歩き、調べ、当時の世界観が登場人物の台詞や歌詞、動作に描かれています。

なる演出を楽しみながら鑑賞されつつも、経験者だからこそ知る厳しい稽古を振り返り、苦難を乗り越えステージで輝く今回の出演者に拍手が湧きます。今回初めて鑑賞された方も、想像以上の出来栄に、驚きと共にここまで辿り着くまでの努力を推しはかり称える言葉が贈られます。終演後のロビーでのお見送りでは、どこを切り取っても笑顔笑顔そして笑顔が溢れていました。



今回で5回目の『君といた夏』ですが、集まる市民キャストに合わせて毎回異なる作品となっています。本番では、“わたし達の”『君といた夏』を全身で表現し、お客様に届けます。お客様のなかには、過去に出演経験のある方もいらっしゃいます。自分の出演回は異

やりきった先にはしか見られない世界、やりきった先にはしか感じられない自分。目指すところまでの目標がある生活というのは、簡単なものではないですが、頑張ることで得られる張り合い、今を生きている実感が湧いてくるようです。それを自分だけではなく、家族そして、地域を構成する年齢も職業も異なる人たちと力を合わせてやり抜く。全員で頑張れた先にはそれを称賛して下さる存在も。この循環がまちの元気に繋がっていく、みんなの笑顔を見ながらそんな希望を抱きました。(一部抜粋)

今号よりala timesが隔月発行になりました。館長エッセイはアラWEBページにて更新していきますので、ぜひご覧ください！



館長エッセイ 随時更新中！



館長 籠橋 義朗

レポート全文はこちら▶



### アラ紙芝居一座募集

アラ紙芝居一座では、紙芝居を実践する演者とその活動をコーディネートするスタッフをそれぞれ募集しています。16歳以上であれば、経験の有無は問いません。年3回程度の公演活動で、スケジュールに無理なくご参加いただけます。興味のある方は活動内容について詳しくご説明をしますので、まずはお気軽にお問い合わせください！

【お問い合わせ先】  
可児市文化創造センター ala・澤村  
TEL:0574-60-3311  
※右記フォームからも問い合わせ可能です



インタビュー：澤村 潤 (アラスタッフ)

あなたの『表現』を、もっと遠くへ。

映像、デザイン、Web、イベント制作。あらゆるクリエイティブで、あなたの表現を加速させる。その想いを、もっと遠く、もっと多くの誰かへ。トイ・ファームは、可児市を拠点にするあなたの専属クリエイティブチームです。  
<https://toyfarm.co.jp>

FMらら & ららマガジン  
地域密着ラジオとフリーマガジンであなたのお店や会社、イベントをラジオ+紙面でPRしてみませんか？

- 20秒CM、スタジオ出演、求人告知
- 「ららマガジン」掲載

FM rara 55  
76.8MHz  
KANI, NISHIKAWA, NITAZAKI

0574-50-2080 ifno@fm768.jp

The Book lounge Hotel KANI

岐阜県可児市今渡715  
Tel 080-3505-8437

Message

前半には、私の原点ともいえる師、バーンスタインの作品『ウェスト・サイド・ストーリー』より「シンフォニック・ダンス」をお届けします。後半のマーラー交響曲第1番「巨人」は、各奏者の個々の魅力を存分に感じていただける作品です。音楽監督として4年目を迎えた新日本フィルとの、深化した響きをお楽しみください。

新日本フィルハーモニー交響楽団  
音楽監督

佐渡 裕

# 佐渡 裕

×  
新日本フィルハーモニー  
交響楽団2026

Program

バーンスタイン：「ウェスト・サイド・ストーリー」よりシンフォニック・ダンス  
マーラー：交響曲第1番「巨人」

©Peter Rigaud c/o Shotview Artists



8.2 Sun 16:00 | 主劇場

料金 全席指定 7,000円 25才以下 3,500円

発売日 6/13 (土) 予約開始 6/13 (土) 18:00 託児申し込み 7/19 (日)まで

【公演チケット購入者限定企画】  
リハーサル見学&デザートセット

◆8/2 (日) 13:15~15:15 ◆定員 30名  
◆料金 1,500円 ◆発売期間 6/13 (土)~7/18 (土)

NEW JAPAN  
FILHARMONIC  
SUMIDA, TOKYO  
©K.Miura



TEL 0574-63-5223

営業時間 9:00~20:00

アラ主催・共催公演チケット提示で、公演日から1カ月間、飲食代が10%OFF (一部対象外公演あり)  
※お一人様チケット1枚につき1回限り有効

可児市文化創造センター - ala

休館日

5月は7、12、19、26日  
6月は2、9、16、23、30日

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139  
https://www.kpac.or.jp

開館時間/9:00~22:30 (火曜休館/祝日の場合は開館 翌平日休み)  
TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312 ㊚ala\_info.01@kpac.or.jp

